

## 第6章 重点整備地区の区域、生活関連施設及び生活関連経路

### 6-1 重点整備地区の設定方針

バリアフリー新法では「高齢者や障害者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上を推進する。」ことを目的としており、本市では、「筑紫野市交通等バリアフリー基本構想作成の方針」に基づき、バリアフリー化を速やかに、効果的に進めるため、当面、バリアフリー新法の対象となる「重点整備地区」におけるバリアフリー化を推進していきます。

重点整備地区は「生活関連施設（高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設及びその他の施設）の所在地を含み、かつ生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であること。」とバリアフリー新法では規定しています。生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区とは、生活関連施設が徒歩圏内に集積している地区をいいます。

また、地区全体の面積がおおむね400ha未満の地区であって、原則として、生活関連施設のうち特定旅客施設又は官公庁施設、福祉施設等の特別特定建築物に該当するものが3つ以上所在し、かつ、当該施設を利用する相当数の高齢者、障害者等により、当該施設相互間の移動が徒歩で行われると見込まれるものとしています。

そこで、旅客施設周辺の徒歩圏内に立地し、多くの高齢者や障害者など全ての人が徒歩で利用すると考えられる施設を考慮して重点整備地区を設定します。

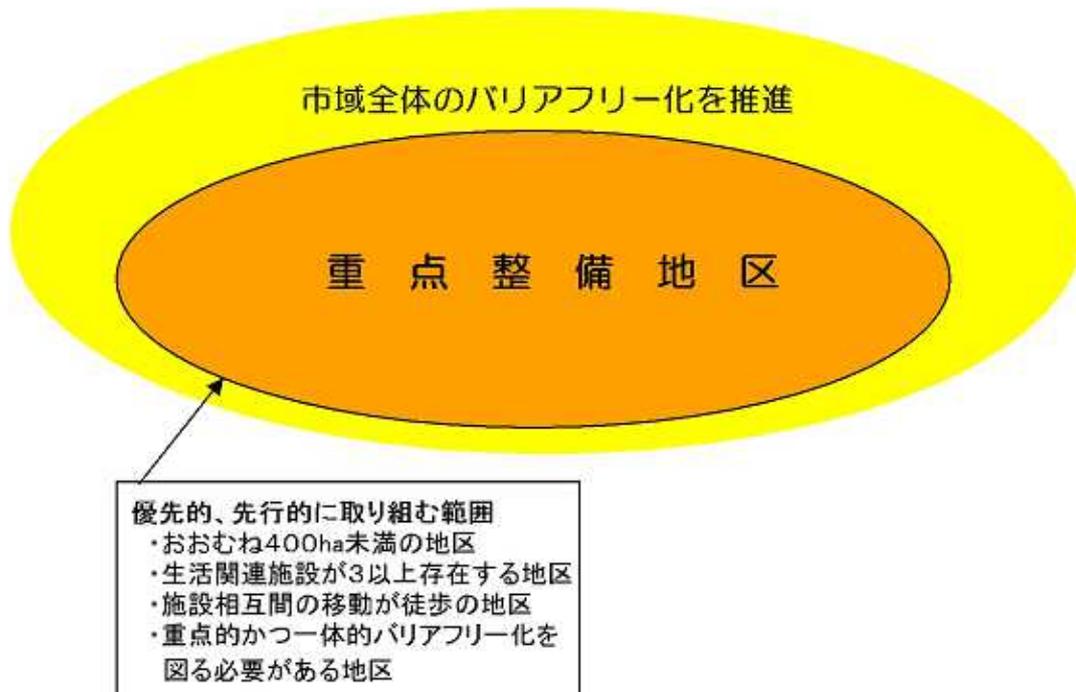


図6-1 重点整備地区の位置づけ

## 6-2 重点整備地区の区域設定

重点整備地区は、JR二日市駅ならびに西鉄二日市駅、さらに西鉄二日市南新駅（仮称）およびその他の生活関連施設を包括的に含む範囲を設定しました。具体的な区域については、道路によって定めています。なお、この区域に接して特別特定建築物が立地している場合はこれを含みました。

重点整備地区の区域は図6-2のとおりです。



## 6-3 生活関連施設ならびに生活関連経路

### (1) 生活関連施設

バリアフリー新法では、高齢者、障害者などが日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設を「生活関連施設」と位置付けています。そして、この「生活関連施設」内での移動等の円滑化のために実施すべき事業として「特定事業」を定めることとなっています。

そこで、設定した「重点整備地区」において、旅客施設（JR二日市駅・西鉄二日市駅ならびに西鉄二日市南新駅（仮称））および、多くの高齢者や障害者などが利用すると考えられる生活関連施設を抽出しました。

区分	施設名称	摘要
特定旅客施設	JR二日市駅 西鉄二日市駅 西鉄二日市南新駅（仮称）	1日5,000人以上の利用者がある旅客施設
官公庁施設	筑紫野警察署 市庁舎 市上下水道部 パープルプラザ 二日市コミュニティセンター	市民にとって特に重要な施設 高齢者や障害者の多くも利用する施設
医療福祉施設	二日市中町病院 愛心会二日市病院 二日市共立病院 二日市整形外科病院 済生会二日市病院 杉病院 特別養護老人ホームむさし苑 有料老人ホームサンテルム延寿館	市民にとって特に重要な施設 高齢者や障害者の多くも利用する施設
郵便施設	筑紫野郵便局 筑紫野本町郵便局 二日市温泉郵便局	市民にとって特に重要な施設 高齢者や障害者の多くも利用する施設
商業・宿泊施設	大丸別荘 アイビーホテル筑紫野 ダイエー	多くの観光客が訪れる施設 市民にとって特に重要な施設 高齢者や障害者の多くも利用する施設
駐車場施設	二日市駅自動車駐車場 JR二日市立体駐車場 二日市ユニード駐車場 二日市中央通り商店街駐車場	「バリアフリー新法」によって新たに盛り込まれた路外駐車場

駐車場施設の名称は福岡県建築指導部建築指導課への届出による

表6-1 生活関連施設一覧

## (2) 生活関連経路

バリアフリー新法では、生活関連施設相互間を結ぶ経路を「生活関連経路」と位置付けています。そして、この「生活関連経路」での移動等の円滑化のために実施すべき事業として「道路特定事業」や「交通安全特定事業」を定めることになっています。

筑紫野市では、市内主要駅であるJR二日市駅、西鉄二日市駅、西鉄二日市南新駅(仮称)をはじめ、官公庁施設、福祉施設、文化施設及び商業施設など、地域の住民や域外からの来訪者が日常生活において利用する都市機能が集積しています。また、JR二日市駅南側には歴史的な温泉があり、温泉街を形成していることから、これらの施設相互間を結ぶ経路を、安全で円滑に徒歩で移動できる交通環境にする必要があります。

これらを踏まえ、地域住民にとって重要な施設である駅と駅とを結びつける経路や、駅と施設の経路はもちろん、駅前広場の整備予定地も生活関連経路として設定します。また、施設と施設相互間を結ぶ経路や駅舎へと向かう重要な経路について、特に重点的にバリアフリー化を図っていくこととします。